

古き時代の青梅街道をたどる
奥多摩 むかし道

実施日 2021年11月21日(日)
天候 曇り/晴れ
リーダー 渋谷 京子
参加者 福島政幸、涌井良明、山崎富好、美恵、白石恵美子、小村井好、枝、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、徳山敬子、宮崎敏男、阿部一郎、阿部みゆき、齊藤実 計14名
費用 JR 1,298円(立川起算)
バス 354円 計1,652円
タイム 奥多摩駅(9:25~9:40)水根BS(9:50)青目不動堂(10:20)西久保追分(10:45~10:55)広場(11:15~11:45)道所吊橋(12:10)しだくら吊橋(12:30)成田不動尊(12:40~12:45)白髭神社(13:00~13:10)不動の滝(13:25~13:30)槐木集落(14:05~14:10)羽黒三田神社~奥多摩駅(14:35)

紅葉の山と谷を愛でたくて12月中旬の予定を1ヶ月前倒し実施した。

ホリデー快速の一本前で降りて正解！奥多摩駅の大混雑は免れた。

臨時便も出ているので焦る事もないが参加者全員定期便で水根バス停に降り立った。



久し振りの奥多摩！凜とした空気、曇り空の中を歩き出す。

大麦代トンネル入口手前から右に車道に入り

ヘアピン状に右に曲がって緩やかに登っていく。お目当ての紅葉が行く先々に広がり、眼下に小河内ダムの光る水面、上に目を向けると御前山から奥多摩湖に延びる稜線は錦に彩られている。



青目不動堂で集落を抜けると下りになり滝のり沢で登り返す。この辺り道幅も狭く石もゴロゴロで下りは気を付けたい。

浅間神社の先から下りになり西久保追分で小休止！展望が開けていて山々が見渡せる。ヘアピン状に曲がり更に進むと

落ち葉に埋もれた広場が！確か6年前に此処で休憩した覚えがある。少し早いが昼食タイムとした。

赤や黄の樹林に囲まれ小春日和の時間を過すのももてきた。



30分程で切り上げ出発すると程なくテーブルとベンチが！しかも見晴らしも良し！トイレも併設されている。次回？は此処でお昼としましょう！！

道所吊橋や、しだくら吊橋は重量制限があり案内図では5人以内とあったが実際には2人になっていた。橋を見ると大分傷んでいるのが見てとれる。



しかも10人位順番待ちしていたので勿論スルーした。橋の下はエス字状の惣岳渓谷を眺めるポイントで紅葉とのコラ

ボレーションに見とれた。

成田不動尊を過ぎ白髭神社に到着、神社の階段を登ると社殿に覆い被さるように大岸壁が迫っていて圧倒される。

境の集落を過ぎその先の橋詰バス停へは出ないで左手前の石段を登る。檜村を過ぎて緩やかに登ったところが槐木(さいかちぎ)の集落、そそり立つ槐(えんじゅ)の巨樹が地名の起りだそうだ。暫く進むと小河内ダム建設時の旧引き込み線跡、その先に羽黒三田神社がある。

急坂の羽黒坂は薪炭運搬の人馬が苦勞した難所だったらしい。バス道に出て氷川大橋を渡り奥多摩駅に辿りついた。

奥多摩むかし道！9キロ4時間の道のりを紅葉を愛で、久々の仲間との再会は嬉しくお喋りも弾み楽しく里歩きを満喫出来ました。大勢の方にご参加頂き有り難うございました。

こんな、まったりゆっつかりの里歩きも偶にはいいものですね~！

やっぱりメンバーと共に行く山行は最高に楽しいものですね。又、ご一緒に！

(記・渋谷 京子)
(写真提供・涌井良明)